

交流拠点複合施設 実施設計の概要は

広報たぎざわ平成 25 年 7 月 5 日号と 8 月 5 日号で基本設計の概要をお知らせしましたが、この度、実施設計が終了しました。基本設計を踏襲した内容となっていますが、実施設計の概要をお知らせします。

◆最終的に 5,915 m²に

延床面積は複合施設で 5,000 m²、産業雇用創造センターで 900 m²ということで基本計画から進めてきましたが、最終的に両者で 5,915 m²になりました。

これは、事業費や管理費を考え、コンパクトな中にも機能性を重視するという方針に基づき、部屋の共用や共有スペースを設けることで解決したものです。

◆ユニバーサルデザイン

岩手県立大学福祉経営学科長の狩野徹教授の監修により、ユニバーサルデザインに配慮した施設としました。

これは、多目的トイレ以外のトイレにも大きなブースを 5 カ所設置し車椅子やベビーカーなどに配慮、点字のほか触知図（触れて分かる地図）の採用、分かりやすい部屋配置、低めのカウンター、直感的に分かるサイン、当市のチャグチャグ馬コをモチーフにしたサインなど数々の工夫が施されています。

◆省エネ・再生可能エネ・防災

プロポーザル案の大屋根を踏襲し、エネルギーロスの軽減、外気冷房などを行なうとともに、地中に 100 m の井戸を 34 本掘りその熱を冷暖房に活用するほか、ソーラーパネルを設置します。

これに加え 72 時間の非常用発電機を設置し、災害時は避難所・医療班やボランティア待機・物資搬入・自衛隊車両の受け入れなど、災害対策拠点としての役割を担います。

◆主な仕様

- ・図書館…842 m²、10 万冊収蔵可能。閲覧席 56 席（ほか 2 階学習コーナーに 32 席）、一般書架、児童書架、読み聞かせコーナー、地域資料コーナー、雑誌コーナー、新聞コーナー、多目的室、移動図書館車庫、閉架書庫、そのほか事務関係室。
- ・大ホール…1,138 m²、486 席（内 2 階席 78 席）、平土間利用時約 500 m²、ステージ開口部高さ 8 m、巾 18 m、奥行 12 m。音響反射板の設置ほか専門家による音響や舞台の設計。
- ・小ホール…228 m²、防音、フローリングで各種小公演や軽運動も可能に。
- ・クッキングスタジオ…79 m²、パーティーなどにも活用しやすい仕様に。
- ・和室…12 畳、15 畳、流し。
- ・大会議室…133 m²、3 分割で利用可能。
- ・中会議室…82 m²、防音、フローリングで軽運動も可能に。
- ・小会議室…20 m² 2 室のほか 26 m² の 2 室は、防音により楽器演奏が可能。



みんなでつくる ふれあいの大屋根
滝沢市交流拠点複合施設（実施設計概要版）平成 26 年 2 月

- ・キッズルーム…64 m²、床暖房。子どもトイレ、授乳室を隣接配置。
- ・創作兼準備室…52 m²、災害時や屋外との連携も考慮し、床は土間仕上げに。
- ・ギャラリー…65 m²。最も目に付くところに巾約 20 m の大空間を配置。
- ・ふれあい広場…約 200 m²、喫茶コーナーを設置。
- ・ホワイエ…約 200 m²、ギャラリーなど兼用。
- ・市民活動支援センター・相談室…75 m²、打ち合わせコーナー、掲示板、相談室 2 室、印刷室などで活動支援。
- ・産業雇用創造センター…899 m²、観光案内所、物産展示販売コーナー、レストラン、農産物加工室。

◆今後の予定

平成 26 年度早々に建築工事に着手します。平成 27 年度末まで工事を行い、平成 28 年度にオープン予定です。

◆図面や概要版を市ホームページに掲載中

市ホームページでは、設計図面のほか、さらに詳しい内容を載せた「実施設計概要版」を掲載しています。

◆問い合わせ 交流拠点整備室（内線 398・399）



図書館は、明るく開放的に。閲覧席は窓際に配置



交流の場「ふれあい広場」のほか交流の場があちこちに



ホールは 486 席の観客席のほか、全体が 500 m² のフラットな空間に